




取組・活動名		栄っ子クリーン作戦 ～おもてなしの心あふれる学校・まちづくりを目指して～				
校種・学年		小学校・全学年			教科等	国語（5年）・学校行事
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	2学期（5年） 60分（全校）
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	（その他）	準備等	軍手・ゴミ袋・トング・一輪車
プログラムのねらい						
東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、お客様が気持ちよく過ごすことのできる、きれいなまちづくりを目指す。						
児童・生徒の実態						
本校は全校児童 291 と小規模校であるため、一人一人の距離が近い。そのことも生かしつつ、意図的、計画的な異年齢の集団活動を実践している。業間休みや放課後などは、運動場で学年関係なくお互いの名前を呼び合って遊ぶことがよくある。この人間関係を生かした活動が「栄っ子クリーン作戦」であり、昨年度からオリパラと関連付けて「おもてなしの心あふれる学校・まちづくり」という目標を掲げて取り組んでいる。						
プログラムと既存の学習との関わり						
○たてわりグループで清掃活動を行うことで、異年齢集団で協力する態度や働く喜びを味わわせることが目的だが、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けたきれいなまちづくりという視点を与えることによって、主体的にオリンピック・パラリンピックに関わる態度を育てることができる。						
○5年生の国語「明日をつくるわたしたち」の学習を通して、地域をより良くしていくための解決策を提案し、地域の方々を巻き込んでいくことで、「おもてなしの心があふれるまちづくり」に広げることができる。						
指導計画・評価計画						
1 5年生国語「明日をつくるわたしたち」						
(1) 自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を作る。						
(2) 学校応援団員や地域の方々を招待し、提案書を発表する。						
(3) 学校応援団員や地域の方々のアドバイスを基に、提案を実行する。						
(例) 地域の掲示板に、「栄っ子クリーン作戦」のポスターを貼ってもらい、地域の方々の参加を呼びかける。						
2 栄っ子クリーン作戦						
(1) 児童会だよりを発行し、全児童へ周知する。						
(2) 6年生は清掃場所とごみの集め方や分別方法を担当と確認する。						
(3) 栄っ子クリーン作戦を行う。						
		10箇所の掲示板にポスターを貼ってもらいました。			当日は、8名の町内会の方が参加してくださいました。	

本時の学習指導

(1) 本時の目標

- たてわりグループで清掃活動を行うことで、異年齢集団で協力する態度を養う。
- 公園や学校の周囲の清掃を通して、自分たちの学校や住んでいる地域を進んできれいにしていこうという意識をもたせるとともに、働く喜びを味わわせる。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、お客様が気持ちよく過ごすことのできる、きれいなまちづくりを目指す。

(2) 展開

○はじめの会

- ・計画委員による始めの会を通して目的を確認する。



校外に出る時職員は、防犯パトロールビブスを着用します。学校の取組をPRすることで、地域とのつながりをより深めています。

○班ごとに清掃場所へ移動



○清掃開始

- ・燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみに分けてごみ袋に入れる。



今年度から持久走大会後の実施にしたため、例年よりも多くの保護者の方々に参加をしていただきました。



○終わりの会

- ・計画委員によるまとめ・感想発表をする。

学校に着いたら、取ってきたゴミを分別してまとめます。



成果

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを視野に入れることで、地域と学校が一体となって「おもてなしの心があふれるまちづくり」に取り組む機運を醸成させることができた。

おすすめポイント

- 5年生の国語の学習とつなげることで、地域を巻き込み、まちづくりに広げることができる。

“次代に語り継ぐ”ポイント

- 学校と地域が一体となり、自分たちの住む地域をよりよくしようとする意識を高めながら、進めていくことができる。学校・家庭・地域の連携の推進。